

令和4年度長崎県立諫早高等学校(全日制)・附属中学校 学校関係者評価

評価実施日：令和5年2月15日(水)

評価実施者：学校評議員

[評価] A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

1 学校評価表における評価分野及び項目

番号	評価分野・評価項目	評価	コメント
1	学校経営 学校経営方針の明示等	B	校訓「自立創造」、校是「文武両道」の理念に沿った学校や学年の明確な目標の下で、全職員が中高一貫教育校として、志の教育の推進に一丸となって取り組んでいるが、生徒による探究活動の継承などをおして、繋ぐ力の充実に努めていく。
2	努力目標(1) 生徒指導の充実と教育相談の推進	B	日頃から生徒観察や言葉かけを行い、職員間で連携して問題発生の未然防止に努めている。いじめ調査や悩み調査を定期的実施するなど状況把握に努め、問題があれば迅速に対処している。中高調整会や相談委員会で定期的情報共有を行い、SCやSSW及び専門機関からの助言も受け、学年と分掌が連携した対応をしている。 また、SCやSSW及び専門機関との連携・活用を図っている。様々な悩みを抱える生徒や必要に応じて保護者に対しても、個に応じた効果的な支援の充実を図っていく。
3	努力目標(2) 師弟同行の下での道徳的実践力の育成	B	職員による講話や関係機関による講演会の実施に加えて、生徒主体のワークショップやワールドカフェ等を取り入れて、主体的に行動できる生徒の育成に努めている。 集団における人と人との関わりの中で、他者への理解や「命」を尊重する教育を今後も進めていく。
4	努力目標(3) 授業改善による学力の充実・向上と進路希望の実現	A	ICT機器の活用や授業改善に取り組んでおり、生徒の学力向上が図られている。中学校、高校とも総合的な探究(学習)の時間等を活用し、自ら課題を設定して、課題研究やキャリア教育に主体的に取り組む生徒の育成に努めている。また、グローバル講演会や東大寺子屋の実施等、これからの時代を生き抜く生徒に求められる学力の育成にも、継続的に取り組んでいく。
5	努力目標(4) 健康教育の推進と安全管理の徹底	B	登校指導や交通安全に関する集会を通して、事故の未然防止に取り組んでいる。今後も交通講話や交通マナーの指導等、継続的に対応していく。 また、校内の安全点検を定期的に行い、危険箇所等があれば速やかに対処していく。

	評価分野・評価項目	評価	コメント
6	努力目標（５） 学校行事、生徒会活動及び 部活動の充実と推進	B	部活動は各部とも活性化に努めている。また、部活動指導計画書の作成や休養日の設定等により、徳・知・体の調和のとれた逞しい人間の育成を図っている。 今後も、生徒が主体的に関わる魅力ある学校行事や生徒会活動に繋がるよう努めていく。
7	努力目標（６） 芸術文化活動・読書活動の推進	B	芸術鑑賞会は公演を二回実施し、中高全学年を分散させることで新型コロナウイルス感染症への対策を図り、開催することができた。今後も、様々な分野の芸術に触れさせていく。また、図書貸出数の増加を目指し、読書活動の推進を図書委員会の継続した活動をとおして図る必要がある。
8	努力目標（７） 省エネルギーの推進と美化意識の醸成	B	照明器具の消灯や冷暖房の利用等、省エネルギーの推進について、新型コロナウイルス感染症への対策も配慮しながら呼びかけを強化していく。また、清掃時のみならず日常生活においても、折に触れて美化意識の醸成に努める必要がある。
9	努力目標（８） 併設型中高一貫教育の充実と推進	B	内進生と高入生の融和については、スムーズに行われている。カリキュラム・学校行事等に関しては、中高の連携強化により改善に取り組んでいる。今後も校内で検証を深め、より効果的な中高一貫の在り方や指導体制の構築を図る。
10	努力目標（９） 広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進	B	ホームページの迅速な更新や、学校だより「藤紫」の発行等、活発な情報の発信を行った。今後も、保護者・地域と連携を強め、Webページの活用等で開かれた学校づくりに努めていく。
11	その他 総合学習、ホームルーム活動、 教職員の資質向上への取組、保護者 との協力体制、P T A活動等	B	総合的な探究（学習）の時間やLHRについては年間計画に基づき充実した活動が行われている。指導力向上を目指したワークショップや講演会など工夫した校内研修を行っていく。

2 自己評価等への取組

	評価分野・評価項目	評価	コメント
1	自己評価への取組	B	自己評価を参考に、継続的かつ組織的に取り組んでいる。
2	学校運営の改善に向けた取組	B	学校の課題を常に意識し、運営の改善を図っている。